

(医療専門課程柔道整復学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			健康心理学	心理学	2前	34	2	○			○			○	
○			人文科学	医学英語	1後	34	2	○			○			○	
○			健康科学	栄養学	2後	34	2	○			○			○	
○			自然科学1	生化学	1前	34	2	○			○		○		
○			自然科学2	生化学	1後	34	2	○			○		○		
○			社会科学1	社会と経済	1前	34	2	○			○		○		
○			社会科学2	情報処理	3前	34	2	○			○		○		
○			人体の構造1	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
○			人体の構造2	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
○			人体の構造3	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
○			人体の構造4	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
○			人体の構造5	解剖学 解剖見学実習	2前	34	2	△		○	○	○		○	○
○			人体の構造6	解剖学	2後	34	2	○			○			○	
○			人体の機能1	生理学：	2前	34	2	○			○		○		
○			人体の機能2	生理学	2後	34	2	○			○		○		
○			人体の機能3	生理学	3前	34	2	○			○		○		
○			人体の機能4	生理学	3後	34	2	○			○		○		
○			疾病の成り立ち1	病理学概論	2前	34	2	○			○			○	
○			疾病の成り立ち2	病理学概論	2後	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態1	一般臨床医学総論	3前	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態2	一般臨床医学総論	3後	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態3	一般臨床医学各論	4前	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態4	一般臨床医学各論	4後	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態5	整形外科学	2前	34	2	○			○			○	
○			疾病の診方と病態6	整形外科学	2後	34	2	○			○			○	

○		外科学概論 1	外科学概論	3前	34	2	○			○			○	
○		外科学概論 2	外科学概論	3後	34	2	○			○			○	
○		保健と衛生 1	衛生学・公衆衛生学	4前	30	2	○			○			○	
○		保健と衛生 2	環境衛生・感染症・消毒	4後	30	2	○			○			○	
○		柔道 1	柔道実技	1前	30	1				○	○			○
○		柔道 2	柔道実技	1後	30	1				○	○			○
○		柔道 3	柔道実技	2前	30	1				○	○			○
○		柔道 4	柔道実技	3前	30	1				○	○			○
○		柔道 5	柔道実技	4前	34	1				○	○			○
○		関係法規 1	関係法規	4前	34	2	○			○				○
○		関係法規 2	関係法規	4後	34	2	○			○				○
○		基礎柔道整復学 1	体の仕組み	1後	34	2	○			○			○	
○		基礎柔道整復学 2	柔道整復総論	1後	34	2	○			○			○	
○		基礎柔道整復学 3	体の仕組み	1前	34	2	○			○			○	
○		基礎柔道整復学 4	柔道整復総論	1前	34	2	○			○			○	
○		基礎柔道整復学 5	柔道整復歴史と沿革	1前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 1	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 2	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 3	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 4	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 5	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 6	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3後	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 7	柔整研究（研究論文）	3前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 8	軟部組織損傷各論（下肢）	3後	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 9	骨折・脱臼各論（下肢）	3前	34	2	○			○			○	
○		臨床柔道整復学 10	骨折・脱臼各論（下肢）	3後	34	2	○			○			○	
○		包帯固定法 1	基本包帯法	1前	34	1				○	○			○
○		包帯固定法 2	基本包帯法	1後	34	1				○	○			○
○		包帯固定法 3	応用固定法	2前	34	1				○	○			○

○		包帯固定法 4	応用固定法	2 後	34	1			○	○		○		
○		包帯固定法 5	副子固定法	1 前	34	1			○	○		○		
○		包帯固定法 6	副子固定法	1 後	34	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 1	骨折実技（上肢・下肢）	3 前	34	1			○	○		○	○	
○		柔道整復実技 2	骨折実技（上肢・下肢）	3 後	34	1			○	○		○	○	
○		柔道整復実技 3	脱臼実技（上肢・下肢）	3 前	34	1			○	○		○	○	
○		柔道整復実技 4	脱臼実技（上肢・下肢）	3 後	34	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 5	骨折・脱臼・軟損実技（認定項目）	4 前	34	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 6	骨折・脱臼・軟損実技（認定項目）	4 後	34	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 7	ケースカンファレンス	3 後	34	1			○	○		○		
○		柔道整復実技 8	後療法（手技療法）	2 前	34	1			○	○			○	
○		柔道整復実技 9	後療法（手技療法）	2 後	34	1			○	○			○	
○		臨床実習	附属整骨院臨床実習	3 後	45	1			○	○		○	○	○
○		社会生活 1	学会・救護実習等	1 前	20	1			○	○	○	○	○	
○		社会生活 2	学会・救護実習等	1 後	20	1			○	○	○	○	○	
○		健康づくり運 動の実際 1	ウォーキング・ジョギング	3 前	15	1			○	○		○	○	○
○		健康づくり運 動の実際 2	エアロビクス・ストレッチ	3 前	15	1			○	○		○	○	○
○		健康づくり運 動の実際 3	水泳	3 後	15	1			○		○		○	○
○		健康づくり運 動の実際 4	レジスタンス、ウォーミングアップとクー リングダウン	3 後	15	1			○	○		○	○	○
○		人体の構造と 機能 1	運動学	3 前	34	2	○						○	
○		人体の構造と 機能 2	運動学	3 後	34	2	○						○	
○		応用柔道整復 学 1	早期臨床実習体験	1 前	45	3			○			○		
○		応用柔道整復 学 2	早期臨床実習体験	1 後	45	3			○			○		
○		応用柔道整復 学 3	救急法	2 前	30	2	○		○			○	○	
○		応用柔道整復 学 4	運動指導法	2 後	30	2	○		○			○		
○		応用柔道整復 学 5	情報処理	4 前	34	1	○		○					
○		応用柔道整復 学 6	解剖学（国対）	4 前	34	1	○		○			○		
○		応用柔道整復 学 7	解剖学（国対）	4 後	34	1	○		○			○		
○		応用柔道整復 学 8	人体の触察法	1 後	34	2	○		○			○		

○		総合柔道整復学1	生理学（国対）	4前	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学2	生理学・病理学（国対）	4後	34	2	○			○	○	○	
○		総合柔道整復学3	画像の診方	4前	34	2	○			○	○	○	
○		総合柔道整復学4	整形外科学・外科学（国対）	4後	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学5	柔道・柔理（国対）	4後	34	2	△		○	○	○	○	
○		総合柔道整復学6	卒業論文	4後	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学7	柔理（国対）	4前	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学8	運動学・リハビリ（国対）	4前	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学9	柔理（国対）	4後	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学10	運動学・リハビリ（国対）	4後	34	2	○			○	○		
○		総合柔道整復学11	信原病院・バイオメカ研究所、卒業論文	4前	34	2	△		○	○	○	○	○
○		総合柔道整復学12	整形外科学・外科学（国対）	4後	34	2	○			○	○		
○		体力測定法	体力測定と評価	2後	34	2	○			○	○		
○		生活機能の障害と機能回復1	リハビリテーション医学	2前	34	2	○			○		○	
○		生活機能の障害と機能回復2	リハビリテーション医学	2後	34	2	○			○		○	
合計				科目	3229 単位時間(168 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定の修業年限以上在学し所定の単位を修得した者については、認定会議の審議を経て卒業を認定し、卒業証書を授与する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	30週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。